

博物館だより

国指定史跡・甲斐金山遺跡 / 湯之奥・中山金山

甲斐黄金村・湯之奥金山博物館報



14万人目の有料入館者をお迎えしました。

開館9年目を目前に控えた4月21日、当館は有料入館者14万人目を迎えることが出来ました。この日、記念すべき14万人目の有料入館者は、東京にお住まいの山川智恵子さん。

お一人でご来館くださった山川さんに「140000」と打刻されたチケットをお渡ししながら14万人目の記念入館者となったことを伝えました。最初はとても驚かれ、町内のケーブルテレビSCTも撮影に来ていたため、多少カメラが気になった様子でした。谷口館長から記念品が贈られましたが、「一人で旅行にきました。なんとなく立ち寄ってみたら、こんなことになるとは、本当にびっくりしました。」と和やかにおっしゃってくださいました。

館長の説明で館内をゆっくり観覧した後、「ありがとうございました」と丁寧に挨拶され、館を後にされましたが、山川さんからは後日、お礼のお便りも頂戴しました。

博物館は4月24日で開館から9年目を迎え、その日は、館のますますの発展を祈念してソメイヨシノの記念植樹も行いましたが、館にとっては開館記念日に先立っての嬉しいニュースでした。

これからも多くの方にご利用いただける博物館作りに力を抜くことなく、15万人目達成のお知らせを早く皆様にお届け出来るよう頑張ります。

観光立町「身延町」を考える

地域活性化は行政・地域・住民の大同団結で

甲斐黄金村・湯之奥金山博物館 館長 谷 口 一 夫

観光の経済効果に期待

2002年の統計ですが、海外から日本へ来た観光客524万人に対し、海外へ出かけた日本人は1,652万3,000人でした。

観光に伴う経済効果（輸送、宿泊、飲食、土産など）は、訪日観光客が800万人になった場合の試算で計2兆7,000億円。これによって約15万人もの雇用の創出が見込めると云われます。このため、いま日本は2010年までに1,000万人を受け入れる「観光立国」行動計画を策定し展開しています。

こうした潮流のなかで山梨県も「観光立県」を目指し、身延町も「観光立町」を町の重要な施策に位置づけています。それぞれ枠組みは違っても、観光産業で地域の活性化を目指す目標は同じだろうと思います。

このように観光は地域経済の活性化に直結します。その成否はどのようなメニューが用意でき、それを、どのような形で提供できるかにあることは言うまでもありません。

観光形態は「団体」から「個人」主流に

観光地への旅行形態も、かつては団体旅行が主流で、一気に数を増やすマスツーリズム「何十人・何百人一色」の時代が終焉、個人のニーズを満たすツーリズムに変化しています。

ここ20～30年間に大量生産時代から多品種少量生産時代へ移行してきた産業界と同じ現象が、旅行業界にも起きていたということになります。

一つの事例として、先般、湯之奥金山博物館の有料入館者が14万人を超えましたが、来館者の内訳は、団体は少なく、圧倒的に多いのは個人・家族・仲間などの小グループの旅行者による積み上げでした。ニーズが集約しやすい小グループで、どこへでも行く感じです。

ニーズは「十人十色」から「一人十色」

さらに、今は「十人十色」のニーズどころか、「一人十色」の多様なニーズがあって、それにどう応えられるかが問われる時代のようなのです。

実際に「一人十色」までいかないまでも「一

人何色」かのニーズをもっていることは実感として伝わって参ります。

ただし、「一人何色」の中には、その一色に「団体旅行」派の方もいますから、その選択肢も必要です。また「団体旅行」の一部に「個」のニーズを盛り込む「複合型」も考えられます。海外旅行などでも団体のメリット（割安料金）を生かし、現地では個人のオプション旅行を楽しむ、プログラム如何では身延町を核に富士川流域 dream ツーリズムでも十分可能となるでしょう。広域的な視点と取り組みは不可欠です。

では観光とは何か

冒頭で書きましたように観光が地域の活性化に貢献することは言うまでもありません。一般的には人が訪れれば地域に経済的な波及効果が起きるからです。

観光とは「その地域の固有な価値としての文化を観る」（井口貢氏）ことだと言われます。言い換えれば、私は「地域固有の自然と文化的価値を外へ発信させる場所」だと思います。

広辞苑では「他の土地を視察すること」また「その風光などを見物すること」と簡単明瞭です。

その「地域固有の価値」の「捉え方」と「観せ方」が観光資源となり、「観光商品」となります。その「商品化力」が観光地としての勝敗を決定づけるものになります。

身延町には観光素材がいっぱい

- ①まず自然です。都会には絶対無い自然と自然景観があります。
- ②山岳・山林、川・溪谷（富士川と支流）、湖（本栖湖）があります。
- ③清流が流れ動植物があり生態系が観察できます。ホタルの里・ヤマメの里があります。
- ④田舎があります。山の暮らしがあります。
- ⑤農産物（茶・大豆・味噌・湯葉・椎茸・ヤマメなど）があります。
- ⑥千二百年余の歴史をもつ湯治場「しもべ温泉郷」があります。
- ⑦信仰の山・身延山があります。宝物館には国

宝があります。宿坊や門前町があります。

- ⑧戦国時代・日本の初源的山金山「湯之奥金山遺跡」(国指定史跡)があります。湯之奥集落には国重文の門西家住宅があります。
- ⑨日本の金山遺跡・金山史研究の拠点／ガイドンス館の甲斐黄金村・湯之奥金山博物館があります。砂金採り体験と砂金番付があります。
- ⑩伝統的な産業(手漉き和紙・手彫り印鑑)があります。
- ⑪なかとみ和紙の里では手漉き和紙の体験ができます。なかとみ現代工芸美術館があります。
- ⑫古道(みのぶ道)・街道があります。下山の館跡・煙硝蔵遺跡があり、豊かな歴史があります。平成の古都しょうにん通りがあります。
- ⑬丸畑・木喰上人誕生の地があります。木喰微笑館や生家があります。
- ⑭由緒ある多くの寺社があります。祭りや年中

行事があります。

- ⑮身延町は山に囲まれ目的やレベルに合わせられる登山コースが随所にあります。
- ⑯JR東海・身延線が走っています。富士川の眺望や、のどかな沿線の旅ができます。
- ⑰道の駅しもべ、ゆばの里みのぶ、など地域活性化施設があります。竹炭もあります。
- ⑱心豊かな情緒ある身延町民がいます。
- ⑳まだまだたくさんあるでしょう。

これらの「素材を観光に生かす」、「この目標を全町民が認識し共有し行動する」と、凄いいことになってしまいます。素晴らしい身延町実現のために行政も住民も大同団結しませんか。

写真は三石山展望台から見た蝙蝠山です。左(五老峰)には常葉金山、中央(金山=かねやま)には内山と茅小屋金山、右(毛無山)には国指定史跡の中山金山遺跡があります。(撮影・佐野由雄)



湯之奥金山の世界遺産登録運動とは

甲斐黄金村・湯之奥金山博物館では館外活動として①湯之奥金山遺跡(写真)の世界遺産登録運動と、②富士川流域を山梨県第3の広域的な観光地化する「富士川流域王国」の運動を推進しています。世界遺産登録運動では、単独で運動を展開すると共に、既に国指定史跡になっている佐渡相川金山と、陸奥(宮城県涌谷)の黄金山産金遺跡の3金山を括った「黄金の国ジバング」(東国の金山遺跡と黄金文化)が、世界的な展望の中でも実現性が高いと考えられ、当該各地へも提唱しながら運動を進めています。

日本の産金は8世紀に宮城県涌谷に始まり、その金は奈良東大寺の大仏の鍍金に使われました。中尊寺の金色堂(国宝)などマルコポーロ

によって黄金の国ジバングが西洋に伝えられました。後年、黄金の国ジバングを目指したコロンブスの航海は、西インド諸島(アメリカ大陸)の発見につながりました。16世紀には砂金に変わる山金が甲斐金山(黒川や中山金山)で始まり、この技術が江戸期の佐渡金山を含む全国の諸金山にもたらされました。

甲斐国には産金遺跡がたくさんあり、武田の時代には甲州金の原形となった碁石金などが作られ、やがて慶長の初期には、極印が打たれた四進法の金貨による貨幣制度が始まりました。江戸幕府が開かれるとその貨幣制度が継承されていきます。この歴史遺産を文化遺産として世界遺産登録を目指しているものです。実現すれば凄い観光資源となります。

活 動 報 告

博物館HPも10万カウントを達成

5月5日(木)

表紙でもお知らせしましたように、当館では4月21日に14万人目の有料入館者を迎えることが出来ましたが、大型連休真っ只中の5月5日には、当館HPが「100000」カウントを突破したという、もう1つ記念日を迎えることが出来ました。

10万人目にHPを訪れてくれたのは高知県にお住まいの細川さん。「いつも見えています。」というメッセージとともにカウントゲットの連絡をくださった細川さんには、記念品をお送りさせていただきました。

平成12年2月のHP開設から約5年が経過しますが開設したばかりのころはアクセス数も決して多いものではありませんでした。今ではインターネットの普及が驚異的に広がったことも手伝って、一日にかなりのアクセス数に上ります。砂金番付も人気です。

今後も情報の更新に加えて、内容の刷新や新ページの追加も考えております。またHP上ではいち早くイベント情報なども掲載しておりますので、これからも博物館HPは要チェックです。

しもべおんせんまつり・松葉杖供養祭

5月21日(土)

毎年、5月のこの時期には下部温泉郷では隠し湯まつりがありますが、今年はずっと多くの方にさらに楽しんでいただけるようにと、下部区と、しもべおんせんまつり実行委員会主催のもと、下部温泉の古き良き歴史の重みを残しつつ内容を一新した「しもべおんせんまつり」が、5月21日(土)、22日(日)に開催されました。

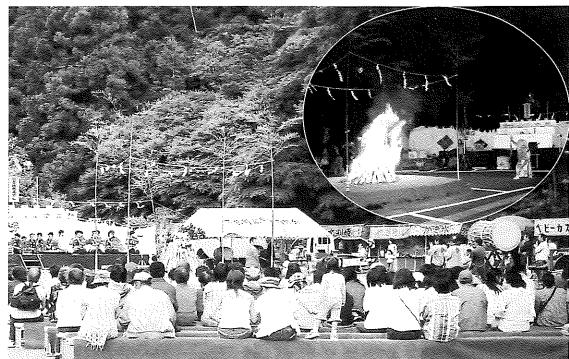
二日間のお祭りのうち、初日は金山博物館イベント広場(専用駐車場)がメイン会場となり、多くのお客様にご来場いただきました。会場には昼間から屋台が多く並び、夕方に近づくにつれて地元のお囃子の演奏や、太鼓の競演、大道芸やよさこいソーランなどのプログラムが次々と繰り出され、祭りの様子も人出もどんどん盛り上がり参りました。

日も暮れて辺りがすっかり暗くなったころ、大勢の観衆が見守る中、お祭りのメインである「松葉杖供養」が執り行われました。松葉杖に火が放たれ空高く燃え上がるその様は、見るものを圧倒し、祭りも最高潮に達しました。

また、おまつり1日目の夜を締めくくる打ち上げ花火も間近で上がり、大きな歓声も上がりました。この二日間、お祭りを楽しみにしながら

ら博物館に来てくれた人、または博物館に遊びに来たらお祭りだったという人など様々でしたが、博物館も会場も遅くまで大勢のお客様で賑わいました。中でも、よさこいソーランの踊りチーム「風林華山」の皆さんは、出番前に砂金採りを体験。衣装が濡れてしまわないか少し心配でしたが、そんな心配はよそに「踊る前にこれで体力を使い果たしそう」などと言いながらも、皆楽しそうに体験されました。

翌日は会場が博物館イベント広場から熊野神社に変わり、神楽奉納と神輿奉納が行われ、二日間にわたったおまつりも、大変好評のうちに幕を閉じました。



県内外小中学校「ふるさと学習」

5月～6月

ここ数年、4月下旬から5月にかけて、県内外小中学校での遠足などに代表されるような校外学習や県内巡りが行われています。今年も博物館は一見学・学習施設として多くの児童・生徒が来館されました。県内では一宮北小、長坂中、竜王北中、久那土小、御勅使中、一宮中、

押原中、春日居小、御坂中、石和中、玉穂中、精進小、県外では埼玉・所沢中、富士市・岳陽中など14校の利用がありました。

今後もより多くの学校にご活用いただけるよう学校側のニーズに柔軟に対応して参ります。

出張/砂金採り体験

このところ、近隣イベントに出店要請の多い砂金採り体験ですが、「出張砂金採り体験」コー



ナーが、4月24日には、しもべ道の駅で行われた「よってけし祭り」、5月の3日～5日に身延町・富士川ふるさと工芸館で行われた「親子ふれあいまつり」。そして6月5日には、なかとみ和紙の里で行われた「川の都まつり2005」において出店、人気を集めました。各日とも、大勢の子ども達が大はしゃぎで体験されました。

また、川の都まつりでは谷口館長がフォーラムにて地域活性化に向けて、その考え方や具体的な方法論などについてパネラーとして講演を行いました。

平成16年度の有料入館者数は17,713人

平成16年度 博物館利用状況

| 年月 | 開館日数 | 区分 | 有料入館者 | | | | 無料入館者 | 年月 | 開館日数 | 区分 | 有料入館者 | | | | 無料入館者 |
|-------|------|-----|-------|-------|-------|-------|-------|--------|------|-----|-------|-------|-------|--------|-------|
| | | | 観覧 | 体験 | 共通 | 合計 | | | | | 観覧 | 体験 | 共通 | 合計 | |
| 16. 4 | 26 | 大人 | 529 | 184 | 381 | 1,094 | 23 | 16. 11 | 26 | 大人 | 633 | 159 | 271 | 1,063 | 68 |
| | | 中学生 | 10 | 143 | 11 | 164 | | | | 中学生 | 7 | 22 | 6 | 35 | |
| | | 小学生 | 69 | 67 | 59 | 195 | | | | 小学生 | 332 | 75 | 37 | 444 | |
| | | 小計 | 608 | 394 | 451 | 1,453 | | | | 小計 | 972 | 256 | 314 | 1,542 | |
| 5 | 29 | 大人 | 865 | 338 | 479 | 1,682 | 27 | 12 | 23 | 大人 | 380 | 67 | 99 | 546 | 22 |
| | | 中学生 | 4 | 237 | 41 | 282 | | | | 中学生 | 4 | 3 | 6 | 13 | |
| | | 小学生 | 21 | 154 | 125 | 300 | | | | 小学生 | 40 | 25 | 20 | 85 | |
| | | 小計 | 890 | 729 | 645 | 2,264 | | | | 小計 | 424 | 95 | 125 | 644 | |
| 6 | 25 | 大人 | 500 | 217 | 570 | 1,287 | 22 | 17. 1 | 26 | 大人 | 268 | 163 | 151 | 582 | 7 |
| | | 中学生 | 5 | 22 | 12 | 39 | | | | 中学生 | 8 | 16 | 6 | 30 | |
| | | 小学生 | 94 | 90 | 64 | 248 | | | | 小学生 | 2 | 30 | 34 | 66 | |
| | | 小計 | 599 | 329 | 646 | 1,574 | | | | 小計 | 278 | 209 | 191 | 678 | |
| 7 | 27 | 大人 | 500 | 336 | 268 | 1,104 | 16 | 2 | 24 | 大人 | 315 | 130 | 201 | 646 | 7 |
| | | 中学生 | 11 | 21 | 7 | 39 | | | | 中学生 | 38 | 10 | 1 | 49 | |
| | | 小学生 | 39 | 99 | 149 | 287 | | | | 小学生 | 6 | 64 | 12 | 82 | |
| | | 小計 | 550 | 456 | 424 | 1,430 | | | | 小計 | 359 | 204 | 214 | 777 | |
| 8 | 27 | 大人 | 688 | 681 | 705 | 2,074 | 7 | 3 | 26 | 大人 | 407 | 282 | 199 | 888 | 3 |
| | | 中学生 | 20 | 156 | 84 | 260 | | | | 中学生 | 114 | 25 | 12 | 151 | |
| | | 小学生 | 275 | 314 | 331 | 920 | | | | 小学生 | 79 | 161 | 54 | 294 | |
| | | 小計 | 983 | 1,151 | 1,120 | 3,254 | | | | 小計 | 600 | 468 | 265 | 1,333 | |
| 9 | 25 | 大人 | 586 | 298 | 343 | 1,227 | 20 | 合計 | 311 | 大人 | 6,109 | 3,090 | 4,016 | 13,215 | 682 |
| | | 中学生 | 10 | 15 | 12 | 37 | | | | 中学生 | 235 | 684 | 205 | 1,124 | |
| | | 小学生 | 12 | 103 | 66 | 181 | | | | 小学生 | 975 | 1,418 | 981 | 3,374 | |
| | | 小計 | 608 | 416 | 421 | 1,445 | | | | 小計 | 7,319 | 5,192 | 5,202 | 17,713 | |
| 10 | 27 | 大人 | 438 | 235 | 349 | 1,022 | 42 | | | | | その他無料 | 418 | | |
| | | 中学生 | 4 | 14 | 7 | 25 | | | | | | | | | |
| | | 小学生 | 6 | 236 | 30 | 272 | | | | | | | | | |
| | | 小計 | 448 | 485 | 386 | 1,319 | | | | | | | | | |

誌上博物館

— シリーズ その22 —

遺跡調査レポート

戦国武将・武田氏がその勢力を最も拡大した時期、甲斐の国は、現在の県境で言うと山梨県域はもちろん、その領土は新潟、長野、愛知までも及びました。その時領内に存在した金山は、湯之奥中山・内山・茅小屋3金山をはじめ、塩山市黒川金山など代表的な金山はもちろん、小規模な金山も合わせて、その数はおよそ30にも上りました。

去る6月25日長野県川上村長尾金山と須玉・金山の遺跡見学会を開催しましたが、この2金山遺跡もまた、戦国期に武田領内の金山としてその繁栄を見せた金山です。今回は、遺跡調査レポートとして見学会の様子とあわせて報

告いたします。

一つめの見学地であるこの長尾金山は、長野県川上村東部の長峰の北東斜面に位置している甲武信金山の裏側にあり、武田が大きく稼業していたと伝えられ、また近代に入っても鉱山作業が行われていた金山で、現在、川上村教育委員会で調査が進められている遺跡の一つです。

山中に、ある一定の期間に一過性に発展し、鉱山に暮らす人々の家が所狭しと軒を連ねる様子を表現する言葉に「〇〇千軒」というような名称が伝わることはよくあることですが、当時の金山稼ぎの盛んな様子を物語るように、長尾の地にも「水中に鉱気あり、川金を掘り起こした」

という天文年間中の古説や、「梓千軒、川端下千軒」など“千軒屋敷”の地名が、古鉱坑と共に今に残り、磨り白などの鉱山道具も発見されています。これら遺物は川上村教育委員会で保管・展示されており、この日は、調査の経緯や遺物の出土状況などを川上村教育委員会の長崎治氏に説明をいただき、遺物の見学後、調査が進められている区域へ移動しました。



精錬所跡を観察する参加者たち

現場は川上村役場から車でおよそ10分ほど離れた山中にあり、磨り白などの鉱山道具が発見された場所ということから“精錬場”と考えられました。すぐ際に豊かな水量の川が流れており、鉱山作業には欠かせない水をこの川から供給していたということは容易に想像がつかます。

現場では鉱石やズリ、汰りカスが多量に確認することが出来、参加者たちも落ちている鉱石を手にしてよく観察していました。

午後からは、2つめの見学地である須玉金山金山へ移動しました。金山金山遺跡は瑞牆山から続く金山（標高1,690m）の東腹、金山平と本谷川の源の金山沢に分布しており、平成5年、須玉町史編纂のための調査として増富の金山金山遺跡の調査が行われた後、平成7年8月から約1ヶ月間、須玉町史編纂委員会主体の増富遺跡群第二次調査で金山の分布・発掘調査により、金山の全域で、採鉱遺構の踏査と坑道の測量、金山平のテラス測量と試掘が行われています。

金山の尾根から山腹湯沢林道までの全域からは、坑道11箇所と露天掘り跡数箇所、テラス23箇所、石臼、陶磁器片などが発見されています。

また、この金山跡近くにある魔子山（標高1,699m）山中には「魔子の人穴」と呼ばれる穴



道の途中に立つ大きなローソク岩

があり、ここには魔子爺という鳥や人を喰ったという昔話が伝わっています。調査の結果、この“人穴”も金山の坑道の1つであるということが分かり、また、この魔子爺伝説は人を驚作り話であったの

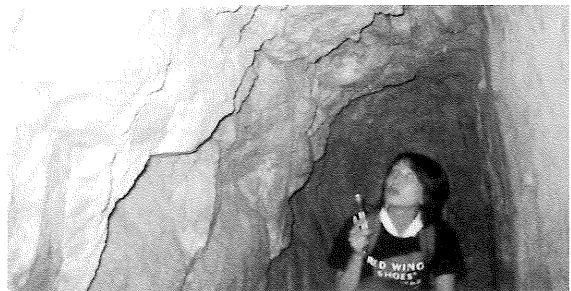
ではないかと推測されますが、とかく金山跡にはこういった伝説や昔話が多くあるものです。

そんな金山金山を現場案内して下さったのは北杜市教育委員会の山路恭之助氏。山路氏の後について、車を止めた場所から、かなりの勾配のある斜面を15分ほど山中へ登っていきま

した。途中で“ローソク岩”と名付けられた大岩がありますが、この岩の周辺には露天掘りの跡と見られる箇所が多く残り、また上から下まで大量のズリが転がっていました。遺跡の保存状態も良好なため、坑道やその周囲の様子が良く分かりました。露天掘りの結果、邪魔な石を上からどんどん落としていったと思われる膨大な量の転石には驚かされましたが、金山遺跡自体を初めて目にするという参加者にとっては、ちょっとした恐怖感を感じるほどに驚いていた様子でした。



大規模なズリ場の中腹を横切る参加者



坑道の中の様子

また、見学した坑道のひとつは奥行き3mほどの小規模なものでしたが、きれいな形で掘ってあり、参加者たちは坑道含めて遺跡全体を見回しながら「金山の作業は聞いて想像は出来ていたつもりだけど、実際に現場を目にしてみると本当にすごかったんだなと改めて感じます」と感嘆の声をあげていました。

限られた時間の中でしたが、どちらの金山跡も良く残されており、また機会を改めて確認してみたいと思う遺跡でした。また今回の見学会のように、戦国時代に武田の領内の金山として操業のいわれが残っている場所を、県内外問わず訪れる機会を作っていきますので、楽しみにしててください。

博物館日誌 (平成17年4月～6月)

- 4月2日(土) 第40回公開講座・講師 田畑貞寿氏
 6日(水) 山梨放送「夕日のジャングル」出演
 13日(水) 埼玉県・所沢中学校宿泊研修、富士川流域王国説明会
 19日(火) 『館だより32号』発行
 21日(木) 有料入館者14万人目達成
 23日(土) 第7回富士川流域王国会議
 24日(日) 「よつてけし祭り」出張砂金採り出店・於しもべ道の駅、開館記念日・ソメイヨシノ記念植樹
 27日(水) ジオラマ展示室プロジェクトメンバーテナンス
 29日(金) 第9回特別展「巡回展・山梨の遺跡展2004」開始
- 5月2日(月) 博物館名サイン設置作業
 3日(火) 出張砂金採り出店、於富士川ふるさと工芸館。→5日迄
 5日(木) 博物館HP10万人目カウント
 6日(金) 一宮北小学校3、4年生遠足
 10日(火) 長坂中、竜王北中ふるさと巡り。
 12日(木) 介護施設しもべ荘遠足。JTB新人社員研修。
 13日(金) 博物館掲示板設置
 16日(月) 久那土小3、4年生遠足
 17日(火) しもべ荘遠足、→20日迄。
 19日(木) 御勅使中ふるさと巡り
 20日(金) 一宮中ふるさと巡り
 21日(土) 押原中ふるさと巡り
 22日(日) しもべおんせんまつり1日目、於博物館駐車場
 24日(火) 春日居小4年生遠足
 26日(木) 御坂中ふるさと巡り
 27日(金) 石和中ふるさと巡り。日刊スポーツ取材
 29日(日) 第9回特別展「巡回展・山梨の遺跡展2004」終了
 31日(火) 富士市岳陽中遠足。『金山史研究第5集』一般頒布開始
- 6月2日(木) 玉穂中ふるさと巡り
 5日(日) 「川の都まつり2005」出張砂金採り 於なかとみ和紙の里
 6日(月) 精進小5年生遠足。
 10日(金) NHK甲府 取材
 11日(日) 下部温泉郷企画「砂金採りバトル」開始。→7月15日迄
 15日(水) 防災メンテナンス
 17日(金) 全国博物館館長会議に館長出席 於東京・一ツ橋
 18日(土) 第8回富士川流域王国会議。都留文科大学課外授業
 19日(日) NHK「おはよう日本！」内「ずてき旅」収録撮影
 25日(土) 長野・須玉 遺跡見学会。NHK「おはよう日本！」放送

館からのお知らせ①

平成17年度公開講座日程のお知らせ

今年の10月から開催いたします、平成17年度公開講座『湯之奥金山とその周辺～河内(峡南)の原風景を追って～』の講師と内容が決定いたしました。

今後、博物館に求められる「博物館と大学との連携」プログラムとして、今年度は信州大学人文学部との共催事業としての開講となります。

各回ともに午後2時から4時まで(質疑応答を含む)、博物館多目的ホールにて開催いたします。今年も多くの皆さまのご聴講をお待ちしております。なお、第45回のみ開催日は予定となっております。

湯之奥金山とその周辺 ～河内(峡南)の原風景を追って～

| 通算回 | 期日 | 演 題 | 講 師 |
|------|-------------------|-------------|------------------------------------|
| 第41回 | 10月5日(土) | 河内の山に生きる | 信州大学教授・人文学部副学部長・歴史学博士 菅 本 正 治 氏 |
| 第42回 | 11月12日(土) | 穴山氏と河内領 | 前山梨県史編さん室長 秋 山 敬 氏 |
| 第43回 | 12月17日(土) | 甲斐と駿河を結ぶ道 | 身延山大学教授・文学博士 望 月 真 澄 氏 |
| 第44回 | 平成18年 1月14日(土) | 河内の産業と経済の歩み | 山梨大学教授 齋 藤 康 彦 氏 |
| 第45回 | 2月18日(土) (予定) | 古代の甲斐国 | 人間文化研究機構・歴史民俗博物館教授 平 川 南 氏 |

館からのお知らせ②

恒例! 夏休みイベント参加者募集

今年もこの季節がやってまいりました。金山博物館恒例、夏の2大プログラム、「こども金山探検隊」と「砂金掘り大会」を開催いたします。各プログラムとも好評につき回数を重ねること今年で5回目。日程は次のとおりです。参加ご希望の方は博物館まで御連絡ください。

第5回こども金山探検隊……金山衆達が働き暮らしていた金山現地に自らの足で登り、鉱石を砕き、汰り分け、灰吹きという戦国時代の鉱山作業を実体験し、3gの純金を使用したオリジナル甲州金を作成。

1日目は現地見学と粉成体験、2日目は灰吹き作業と甲州金作りで構成されている2日間セットの体験プログラムです。

期 日：平成17年7月30日(土)～31日(日)※雨天決行（ただし雨天プログラムに変更いたします）

参加費：3,500円（純金材料費として） ※保護者同伴でのご参加をお願いいたします。

定 員：15人（小学生～中学生まで） ※申し込み〆切り平成17年7月26日(火)まで

湯之奥金山博物館杯・第5回砂金掘り大会……全国でも数少ない砂金掘りを競技として楽しむこの大会ですが、今年も博物館イベント広場（専用駐車場）にて開催いたします。大会種目は3部門で、各部門3位までメダルと賞状を授与いたします。そして3部門あわせて最も成績が良かった人には総合優勝トロフィーを授与。参加無料です。初心者の方もベテランの方も気軽にエントリーして砂金掘りを皆で楽しんでください。

期 日：平成17年8月6日(土) 午前9時～午後12時30分まで（受付は午前8時30分～）

※雨天の場合、翌日7日(日)に順延。

場 所：湯之奥金山博物館イベント広場（専用駐車場）

種 目：ジュニアの部（小学生～中学生） ★自由参加種目：あなたのお皿はなあに？

男女初心者部（高校生以上の男女） びっくり砂金採り

男女ベテランの部（男女年齢制限なし） ※申し込み〆切り平成17年8月5日(金)まで

第2回私学対抗砂金掘り大会……昨年に引き続き、今年も東西の私学が砂金掘り競技で激突。今年には山梨学院大学付属中を加えた4校による熱い戦いが繰り広げられます。昨年の覇者・兵庫灘中高チームが首位を守るか、はたまた他校が首位を奪取するのか。一般の砂金掘り大会を終了後、午後2時30分から開幕。多くの方のご声援をお願いいたします。

参 加 校

兵庫県・灘中高

東京・開成中高

山梨・駿台中高

山梨・山梨学院大学付属中高

夏休み親子映画鑑賞会……夏の午後を、映画を見ながらゆっくり過ごしてみませんか。定員は85人、観賞無料です。観賞をご希望の方は博物館までお申し込みください。

期 日：平成17年8月24日(水) 午後1時～午後5時30分

上映作品：「NIN×NIN忍者ハットリくんTHE MOVIE」他

（上映作品は変更することもありますのでご承知ください）

編集後記

7月に入り、夏休みももう目前。ふと気が付けば2005年も折り返し地点なんですね。

この時期、毎年鮮やかに咲き誇るリバーサイドパークの紫陽花の花も、例年よりも雨量の少ない梅雨と、真夏のような日中の暑さに、ほんの少しだけ元気がない感じも見受けられますが、

夏は各地でいろんなイベントも多く、夏ばてなんて言われてられません。

博物館の入館者もおかげさまで右肩上がり。そんな絶好調の中、お知らせどおり金山博物館夏の3大イベント、「こども金山探検隊」、「砂金掘り大会」、「私学対抗砂金掘り大会」を開催いたします。

各イベントともに今年もより多くの皆様のご参加をお待ちしております。

博物館だより 第33号 平成17年7月5日

〒409-2947 山梨県南巨摩郡身延町上之平1787番地先 甲斐黄金村・湯之奥金山博物館
博物館HPアドレス http://www.town.minobu.lg.jp/local_minobu/kinzan/index.html